

公開シンポジウム「フロンティアを目指す、サイエンスとアート(仮題)」の開催について

1. 主 催：日本学術会議 総合工学委員会 機械工学委員会 合同
フロンティア人工物分科会
2. 共 催：なし。
3. 後 援：宇宙航空研究開発機構(JAXA)、海洋研究開発機構(JAMSTEC) (内諾済み)
ほか、全国紙新聞各社に打診・依頼中。
4. 日 時：平成28年6月27日(月)、28日(火) 終日
各テーマごとに、事前登録(主催分科会側で準備)方式で行い、
昼食時間を設けない。
5. 場 所：日本学術会議講堂(2日間 終日)、
会議室1室を、6月27日(13:00-14:30)。
午後最初のテーマ時間帯と重ねる。
(分科会開催のため。ビジョン小委員会も同時開催。
各自昼食を持参し、提言改訂作業に関わる議論を行う。)
* 尚、登壇者、モデレーター控え室として、小会議室1室を、6月27日、
28日の、午前 9:30-17:00 まで使用する。
6. 分科会の開催：開催予定
開催に併せて提言改訂作業に関わる議論を、ビジョン小委員会合同で行う。
7. 開催趣旨：

サイエンスは、human science, social science, medical science, natural science
の広い領域にわたる。一方で、工学や、医療、文学や芸術に共通するキーワードは アート
(Art) である。アートは、技量、技巧でありつつも、「Artificial」 という人工物を作る
ことを意味し、工学(Engineering)を示す面もある。

フロンティアを、宇宙、深海という狭い範囲での目的地(destination)ではなく、学術
が目指すべき、社会・人類の行く末をも含めた広義のフロンティアと位置づけ、サイエン
スとアートが、フロンティアを知り、またそこへ到達させるうえで果たす役割を、再確認
することを目指す。

人間、社会、自然に関わる未踏の地であるフロンティアを見据えて、それらが何である
か、またそれらに取組むべき行動を追求することは、いわば学術の果たすべき本質的な責
務である。しかるに、昨今の国内外の経済情勢や安全保障情勢は、人工的な手段(アート)
を至近距離で展開する傾向を助長し、フロンティアを見失いがちである。

理学と工学は、フロンティアたる未踏の「自然」の到達領域が何であるか(what)、およ

び未踏の地に至る方法(how)を追求する、密接な関係もつ両輪である。それらは、サイエンスとアート(人工的な技量、技巧)というべき関係にある。これらを追求すべき事由や環境を認識することは、実は、理工学分野(自然科学 第3部)だけの課題ではなく、人文科学、社会科学分野(人間と社会に関わる分野 第1部)においても、同様の構造を持ち、医学・薬学分野(第2部)においても同様であり、双対な構造を構築している。いわば、学術会議全体が取り組んでいる活動の総体であるとも言える。したがって、各々の分野において、追求・推進すべき事由や環境を認識しようとする活動とは、実は、人文社会科学、医学・薬学、自然科学という各構造での認識を相互に鏡のように映して見ることによって、新たな段階に到達することとも言える。各専門領域に特化したシンポジウムだけでは、この新たな認識の段階に到達することは難しい。

2011年に、本分科会は、「人類の持続性確保に貢献するフロンティア人工物科学技術の推進」の提言を発信したが、学術会議査読時のコメントとして、人文社会科学面からも推進すべき理由を掲げるべき、との意見を受け、本分科会としては、2017年に発信を計画している提言の改訂版において、これを記述するべく検討を重ねてきたところである。このために、本分科会は、第1部、第2部の会員をも委員として構成しており、これまでも既に、分科会の機能として、「部」を超えた検討を実際に行なってきた。

本分科会では、今期の活動として、提言改訂に向けて、前回提言に関わるアクションへの回答を得るために、フロンティア人工物ないし理工学(第3部)の範囲を超えて、第1部、第2部の分野をも含んだシンポジウムを開催して、フロンティア人工物分野を人文社会科学面からとらえ、推進すべき立ち位置、環境に関する意見の抽出を行うことを計画し、ここにシンポジウム開催計画を提出するものである。

8. 次 第：

十分な討論を可能とさせるため、モデレーターと登壇者 1ないし2名による対談形式を採用し、会場参加者との間で十分な議論の時間を設ける。モデレーターは、学術会議 本分科会ないし会員や、有識者として全国規模の新聞社、放送、メディアの論説委員がつとめ、対談を、シンポジウムのテーマに添うよう、ガイドする形式をとる。

以下に、現段階(調整中)の次第を掲げる。

○ 6月27日(月)

10:00-10:10 開会挨拶 川口淳一郎* (フロンティア人工物分科会 委員長)

10:10-11:30 「美とアート」 (仮題)

11:35-12:55 「アーカイブ論」 (仮題)

13:10-14:30 「アートとしての数学」 (仮題)

14:35-15:55 「ロボットは人間に代われるか？～介護と廃炉現場で見たもの」(仮題)

16:00-17:20 「地球外生命を探る 人類の未来」(仮題)

(撤収 -18:00)

○ 6月28日(火)

10:00-10:10 「学術会議のフロンティアへの取組み」(仮題)

向井千秋* (フロンティア人工物分科会委員、臨床医学委員会、学術会議副会長)

10:10-11:30 「人工知能：自動運転と未来社会」(仮題)

11:35-12:55 「物流と未来社会」(仮題)

13:10-14:30 「イノベーション、科学技術と教育」(仮題)

14:35-15:55 「『文系廃止論』騒動～理系偏重か？文系支配か？」(仮題)

16:00-17:20 「公海・宇宙資源と所有 - 米国宇宙法 -」(仮題)

17:20-17:30 閉会挨拶、閉会

(撤収 -18:00)

9. 関係部の承認の有無：第3部承認